

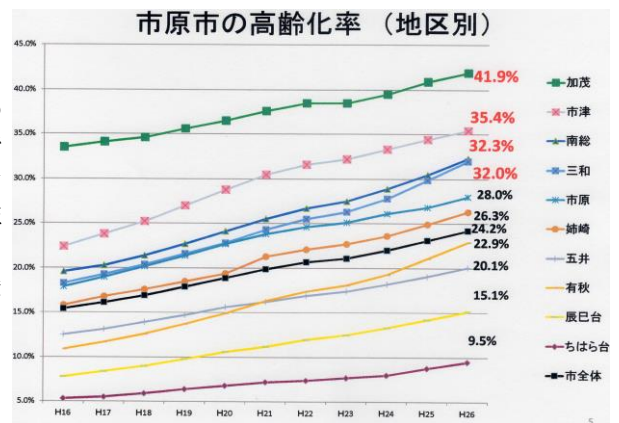
第14号  
発行  
姉崎小学校区  
小域福祉ネットワーク  
会長 脇田 靖  
編集：広報部会

## 認知症サポーター養成研修に参加して 小高直幸



当ネットワーク会員を対象に、認知症への理解を深めるための研修会が行われました。講師は市の高齢者支援課に依頼。「認知症とは？」に始まり、その症状、認知症の人への対応や支援の方法など、大変わかりやすく実用的な内容の研修でした。市原市においても年々高齢化が進んでおり、平成28年1月1日現在での高齢化率は26%、9年後の平成37年には32.3%まで上昇するだろうと予測されています。認知症は、高齢者なら誰もがかかりうる病気です。

報道によると、認知症予防や超早期発見を目指し、近く国の研究機関が大規模調査研究を開始するとのこと。国の予測では、平成37年には高齢者の5人に1人が、さらに軽度の人を含めると、3人に1人が認知症になると考えられています。今後ますます高齢化が進行する社会において、認知症の人とその家族に対する理解が不可欠です。また、地域ぐるみでの支援の輪を広げていく必要があると強く感じました。



### 【認知症サポーター】

認知症になっても安心して暮らせる街を市民の手で作っていくことを目指して、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」を養成し、認知症の人への関わり方や基礎知識を学び理解するための講座です。（認知症サポーターの目印＝オレンジリング）

例えばどんな事？

**町中で**

スーパーのレジでお金の出し入れに困っている人がいたから「大丈夫ですか？」と声をかけて手伝ってあげたわ

**地域で**

切符販売機の所でずっと立っている人がいたから「どこまで行くのですか？」と声をかけてみたよ

**家庭で**

遊んでいたら隣のおじいちゃんが何か不安そうに歩いていたから「どこ行くの？」と声をかけてあげたよ

学校で講座を受けたから家の人に教えてあげたの

### 認知症の人への対応の心得

## “3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急かせない
3. 自尊心を傷つけない

## 姉崎小学校で戦争体験お話し会

中島宗光

7月19日(火)6年生を対象に、戦争の話をネットワーク脇田さんと中島さんが語られました。

中島さんは伯父の戦死についてのお話。同じ部隊にいた方からの伯父の戦死した状況を知らせる書状を披露。また、戦地(今の中国)に行く時の挨拶状(生きて帰れるかわからない状況)を読み上げた。

戦死した時が昭和13年7月と姉崎で3番目の戦死者であったため町葬をしてくれた。その時使った葬送旗もみなさん見てもらいました。息子を亡くした母親が息子の弟妹に対し、今後も息子の命日には線香を手向けるよう依頼する書付も披露した。



また、脇田さんは、次のような話をされました。

真珠湾攻撃から始まった日米の戦争は、米国に暮らしていた多くの日本人(移民)に大変な苦勞を強いることになりました。日系人排斥運動が強まり、西海岸に住んでいたすべての日本人には立ち退き命令が下り、10か所の収容所に強制収容されることになりました。その中にはアメリカで生まれ英語しか話せない子孫も多くいた。その人たちはアメリカ人であることを証明するために徴兵制度に積極的に応募し、軍隊に入った。日系人だけで組織された第402部隊や第100部隊が作られ、ヨーロッパ戦線に送られ、ドイツ軍と戦いました。彼らの功績はその後人種差別の多いアメリカ社会に大きな影響を与え、ケネディ大統領の公民権運動を始めるきっかけになりました。これは日系人部隊の活躍があったからで、10か所の収容所の平和的な運営や402部隊の活躍は、ひとえに彼らが日本人として誇りをもち、日本人の名を汚してはいけないという信念に基づくものでありました。

講演終了後、夏休みに入るまでの短期間で講演を聴いた全員が感想を書いてくれ、中島、脇田に届けられた。読んでみると、戦争は絶対やってはいけない。お互いに話しあいが必要だ。親より早く子供が亡くなるのはつらい。等等。この気持ちをこれからもずっと持ち続けられることを期待したい。

### お知らせ



### 高齢者向け交流サロン(だんわ室)

#### 開催日

10/19(水)

11/16(水)

12/21(水)

「三味線と太鼓」

「レクレーション;頭と体の体操」

「姉崎の歴史②」

○伊東茂雄さんの!!歴史散歩しましょう!!「椎津城 激動のドラマ」は前号で終了しました。

提示された参考文献を記載しておきます。

市原市教育委員会『市原の歩み』

川名 登 著『すべてわかる戦国大名里見氏の歴史』

府間 清 著『房総武田物語房総の古城めぐり』

市原市商工会議所姉崎青年部『姉崎不思議発見の旅』

○8月15日、市原市教育委員会・歴史セミナー「椎津城跡と椎津のカラダミ」が開催されました。その中から椎津城関連の図を1枚。

○次号から、脇田 靖さんの

「健康寿命を延ばす」

歩く＝インターバル速歩のすすめ＝

を連載いたします。

広報部

